

コンサルティング業務委託に係るプロポーザルへの提案 (株式会社寺田大塚小林計画同人)

2-4. 図書館政策を動かす2つのベクトルに漂流しないように。  
行政の文化化と市民の覚醒が、あるべきビジョンを創るように。  
立ち返るべき2つの視点。

- 図書館をどうつくり運営するか
- 図書館をなぜつくり運営するか

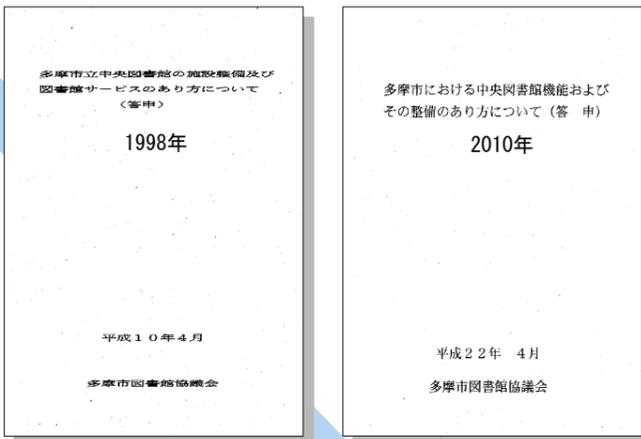
地域社会が求める施策群を俯瞰して、  
大切な順番を公民協働で考えることが地方自治。  
そこに、多摩市の市民と行政文化の不易と流行が見える。

○中央図書館をつくる会～59号誌/市民運動の研究  
(16年の市民活動)

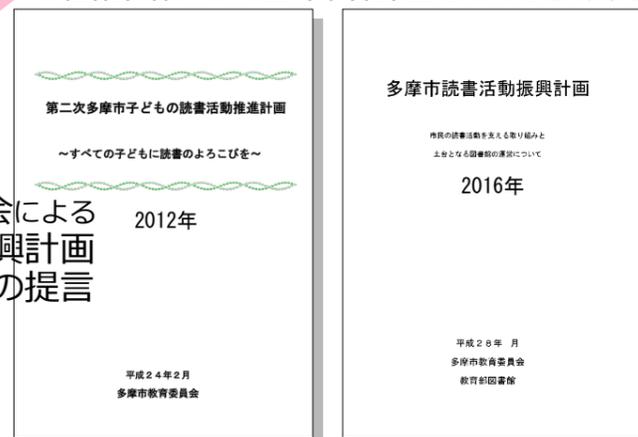


市民と地方自治の論理  
暮らしの豊かさを  
目指すベクトル

1998～2016図書館協議会による  
○中央図書館の研究と整備への提言



2012～2016図書館による  
○図書館サービス基本計画ともいえる研究



求められる  
多摩市の  
図書館ビジョン

基本構想

図書館システム像

新本館像

○2008.仮本館に移転  
図書館協議会による  
○読書活動振興計画  
への圧巻の提言

○E.フロム  
持つから、あるへ、

○国と地方は行政改革、  
市町村合併を経て  
集約都市型社会へ?

○公共施設見直し  
行動プログラム  
2013



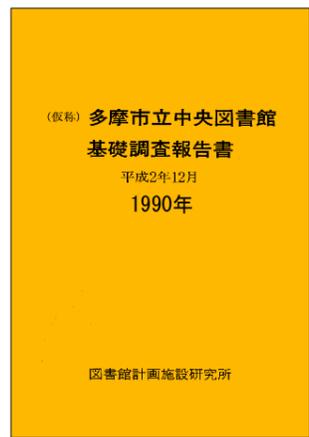
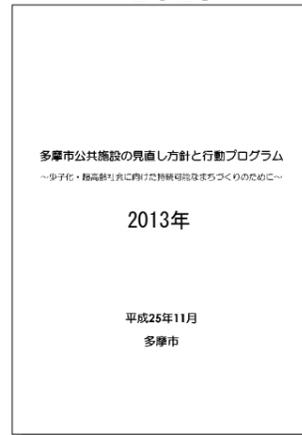
○図書館員の  
図書館見直し研究  
(行動プログラム)2015

まちの賑わい創出  
都市機能増進

都市経営の論理  
効率性や持続性を  
目指すベクトル

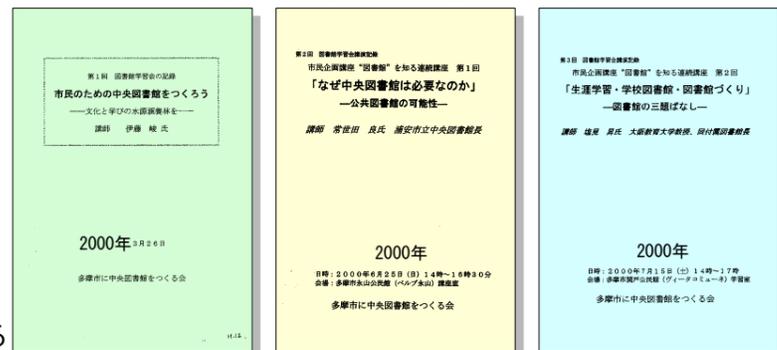
- ・閣議：2013.6.経済財政運営と改革の基本方針
- ・総務省：2014.4.公共施設等総合管理計画  
(図書館事業の集約、民間活力活用、多機能化・集約化・複合化による統廃合、委託化推進)
- ・閣議：2015.6.まち・ひと・しごと創生基本方針  
公共施設最適化事業債の創設
- ・国土交通省：2016.4.立地適正化計画制度、  
集約都市形成支援事業、コンパクトシティ構想  
(公共施設の集約、経済密度、稼ぐ力、図書館で  
集客力とまちの賑わい創出・都市機能の増進)

※はてしない少子化・超高齢化が  
多摩市社会のトレンドとして



○多摩市図書館  
基本計画ともいえる  
中央図書館  
基礎調査研究  
(菅原峻氏 西川氏  
法政大小川氏による)

○中央図書館をのぞむ市民による  
図書館学習会の開催と記録



- 多摩市図書館と市民のありかた  
○自立した市民へ (初代館長伊藤峻氏)
- 多摩市図書館の必要性  
○本館がない限界 (浦安館長常世田氏)
- 生涯学習  
○学校図書館  
○図書館づくり (大阪教育大塩見氏)

○1997.永山

○1984.関戸

○1982.豊ヶ岡

○1981.東寺方

○1979.諏訪

○1977.関戸こども

○1973.多摩市図書館オープン

○1953.多摩市に都立BM巡廻

○自動車図書館  
やまばと号巡廻